

経営比較分析表（令和2年度決算）

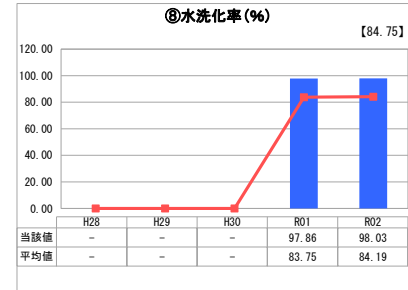
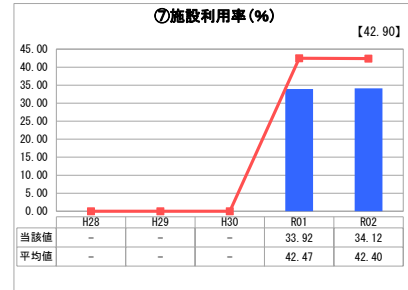
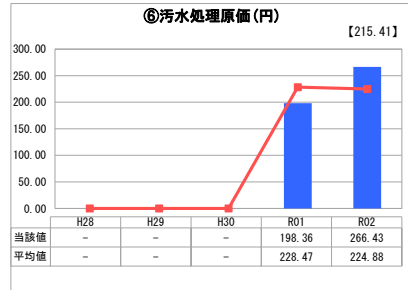
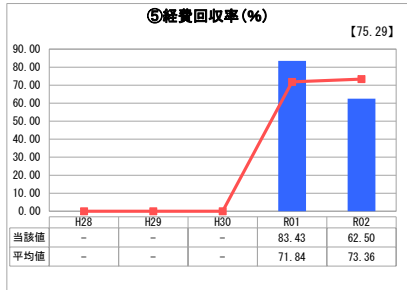
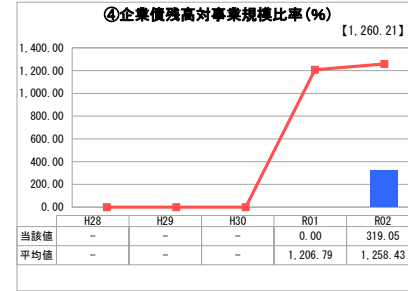
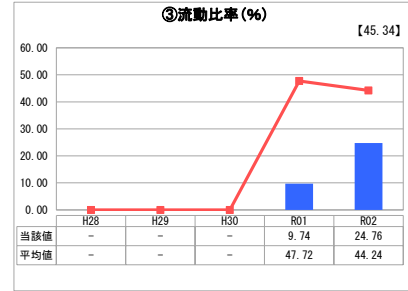
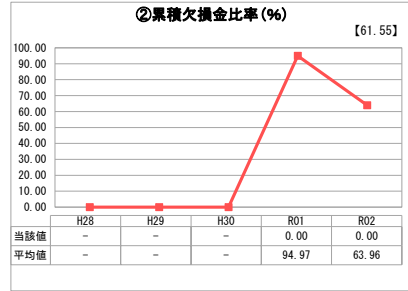
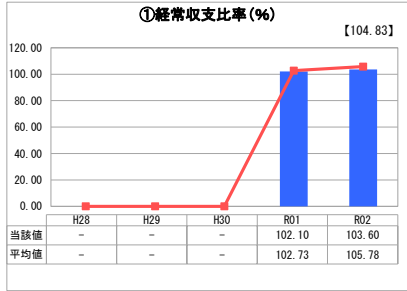
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	40.21	6.28	103.59	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,552	246.76	79.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,220	0.58	2,103.45

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
指標は100%を超えているが、町からの繰入金に頼る面が大きい。今後も維持管理費等の抑制に努める。

③流動比率・④企業債残高対事業規模比率
経営戦略に基づき、将来における下水道使用料の見直しに取組み、またストックマネジメント計画により設備の改築・更新を効率的に行い、新規企業債を抑制しながら、単年度における収支バランスを図っていく。

⑤経費回収率
類似団体平均値と比較し低い数値となり、前年度比も下降傾向となった。今後、更なる汚水処理費の削減を図りながら経営改善に努めていく。

⑥汚水処理原価
類似団体平均値と比較し高い数値となり、前年度費も上昇傾向となった。今後、経営安定化のため維持管理費の抑制に努める。

⑦施設利用率
類似団体平均値と比較し低い数値となっているが、人口減少による有収水量の減によるものと推測される。

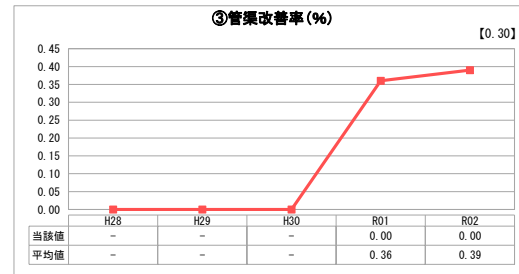
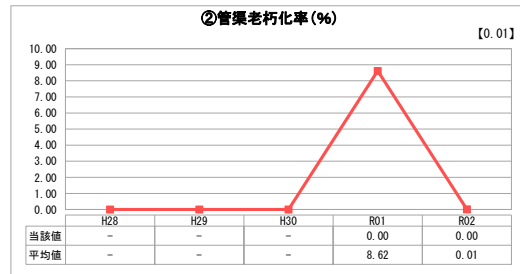
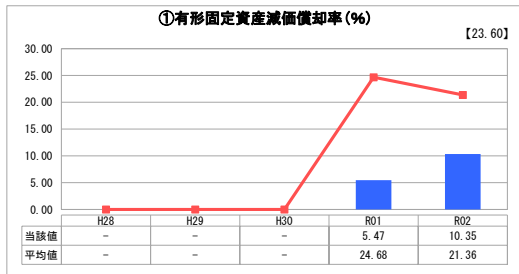
⑧水洗化率
本事業の2処理区については、類似団体平均値を上回っているが、高齢化及び人口減少に伴い、有収水量が年々減少している。

2. 老朽化の状況について

処理場施設及びマンホールポンプ設備においては、供用開始から耐用年数が経過した処理施設、機械設備等をストックマネジメント計画により、効率的に更新を行っていく。

管渠施設の老朽化については、供用から年数が浅いため、指標に表れていないが、将来において計画に基づき、効率的に更新を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、整備が完了しており、稼働率も高い地域である。しかしながら、人口減少の進行が顕著であり、このことから、今後の有収水量の増加は見込めず、使用料収入の減少は避けられない状況である。

今後、持続した経営の安定化を図るためにも、維持管理コストの抑制が必要不可欠である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。